

那須発のSNS観光研究が、国際会議HCII 2026でBest Paper Awardを受賞

発表概要

Kansei Research

Project (主宰：藤井実彦) は、栃木県那須地域をフィールドとして実施したSNS観光研究「Save → Plan → Impulse」が、国際会議HCI International 2026においてBest Paper Awardを受賞したことをお知らせします。

本研究は、Instagram、YouTube、TikTokが観光客の意思決定の異なる段階を支える可能性を、60日間・468本の動画観測と視聴者反応の分析から示したものです。

HCIIについて

HCI International (HCII) は、1984年に始まった、人とコンピュータの関係を扱うHuman-Computer Interaction (HCI) 分野の国際会議です。2026年大会は第28回としてカナダ・モントリオールで開催され、94か国から大学・研究機関・企業・政府機関の7,435人が研究成果を投稿しました。査読を経た1,463本の論文と360本のショート研究論文が、Springerの国際学術シリーズに収録されています。

研究の主な発見

Instagramは将来の訪問候補を記憶する「Save」、YouTubeは比較・学習・準備を進める「Plan」、TikTokは即時的な好奇心と訪問意欲を生む「Impulse」として機能する傾向が示されました。

本研究はプラットフォームの優劣を示すものではなく、旅行者の意思決定段階に応じて、各SNSが異なる役割を担うことを提案しています。

那須から始まった研究

研究の出発点は研究室ではなく、那須地域の飲食店、カフェ、観光施設を訪ねる現場活動でした。魅力ある場所の価値がオンライン上で十分に届いていないという課題を、実践、データ、国際研究へつなげました。

論文情報

Paper: Save → Plan → Impulse: A Cross-Platform Sequential Model of Short-Form Video Influence on Tourist Mobility in Car-Centric Rural Regions

Conference: HCI International 2026 / Publisher: Springer Nature / Series: Lecture Notes in Computer Science

DOI: 10.1007/978-3-032-31407-9_5

今後について

今後は実際の来訪、多地域・多業種での比較、長期的な行動変化、AIを活用した観光体験へ研究を広げます。研究成果は、地域事業者、自治体、観光組織が活用できる実践的な情報設計へ還元していきます。

取材・共同研究

取材、講演、共同研究、自治体・観光協会との連携については、Kansei Research Press Centerまたは上記連絡先へお問い合わせください。

Research begins in the field. Its value is tested through research. Its purpose is to return to society.

Kansei Research Project / 株式会社エックスプレーンズ / 藤井 実彦 / mitfujii@gmail.com / 〒203-0053
東京都東久留米市本町2-3-1